

日本弁理士会 中央知的財産研究所

第9回公開フォーラム

開設16年目を迎える日本弁理士会 中央知的財産研究所の研究活動の一端を紹介する公開フォーラムです。内容の濃いプログラムですので、是非ご参加下さい。(参加費無料)

なお、この公開フォーラムは、日本弁理士会継続研修の単位認定科目として単位認定されます。

※15分以上の遅刻、早退、中座をされると単位は認定されません。公共交通機関の遅延等、自己の行為に起因しない理由であっても15分以上遅刻をした場合には単位が認められません。

※単位取得の場合、弁理士以外の申込みはできず、代理受講も認められません。

※取得単位は、3.5単位を予定しております。

日時 / 場所

《東京》：平成23年 9月13日(火) 13:00 ~ 17:00

於 全社協・灘尾ホール 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階

《大阪》：平成23年 10月4日(火) 13:00 ~ 17:00

於 大阪国際交流センター・大会議室(さくら東・西) 大阪市天王寺区上本町8-2-6

プログラム

パネルディスカッション「審判及び関連する制度の研究」

コーディネータ

名古屋大学大学院法学研究科 教授 鈴木 将文 氏

パネリスト

筑波大学大学院ビジネス科学研究科企業法学専攻 教授 平嶋 竜太 氏

レクシア特許法律事務所 弁理士 松井 宏記 氏

弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士・弁理士 岩坪 哲 氏

弁護士法人大江橋法律事務所 弁護士・弁理士 重富 貴光 氏

特許等に係る審判とこれに関連する制度(審決取消訴訟等)は、過去約10年の間に、大きな変化を遂げてきました(異議申立制度の廃止、訂正制度の改正、侵害訴訟における無効の抗弁の導入等)。そのような中、実務的にも理論的にも、制度変更に伴う新たな問題、あるいは以前から未解決の課題が数多く見られます。そこで、当研究部会では、2年弱にわたり、審判とこれに関連する制度を巡る複雑な問題を順次とりあげて検討してきました。具体的には、審判制度の法的性格、審判請求人適格、発明の要旨認定、審決取消訴訟の審理範囲、訂正審決の効力、商標分野特有の問題、今後の審判に関する制度設計などの論点です。本日は、コーディネータを含め5名の研究員から、各自が担当した論点について報告をした後に、パネルディスカッションで熱い議論を展開したいと考えています。なお、報告及び議論では、本年成立した法改正にも適宜触れる予定です。

*講演者は、お断り無く変更する場合があります。

定員

東京：一般100名、会員250名

大阪：一般100名、会員150名

申込み方法

WEB：右のURLへアクセス 東京 <http://www.benrishi-navi.com/f/?id=3521&type=1>

大阪 <http://www.benrishi-navi.com/f/?id=3522&type=1>

FAX：裏面の申し込み書にご記入のうえ、03-3581-1205へFAX送信

申込み開始

8月3日(水)

申込み締切

《東京》：8月26日(金)、《大阪》：9月8日(木) ※先着順。定員になり次第締め切ります。

入場券

各会場ともそれぞれの開催10日前までにハガキにて送付いたします。

主催

日本弁理士会 中央知的財産研究所

問い合わせ先

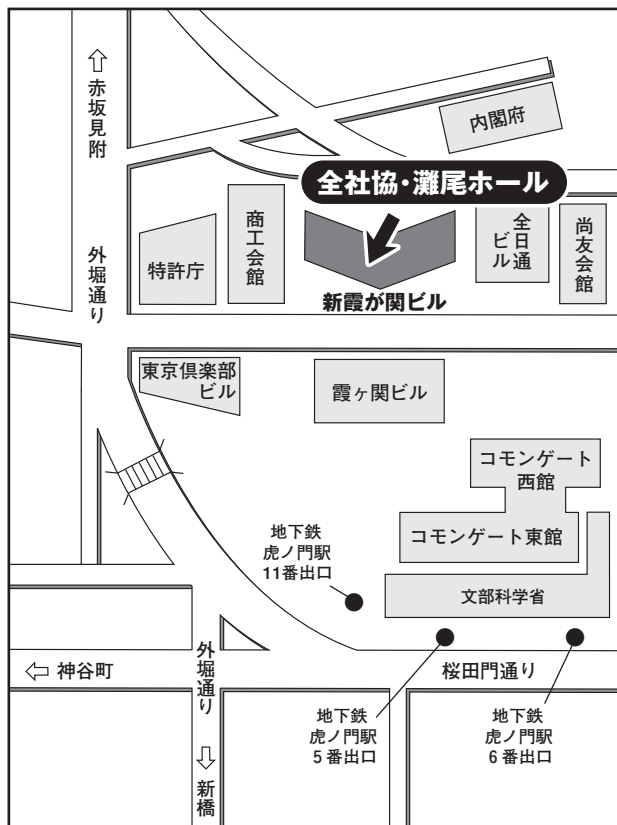
業務国際課 立石

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビル14階

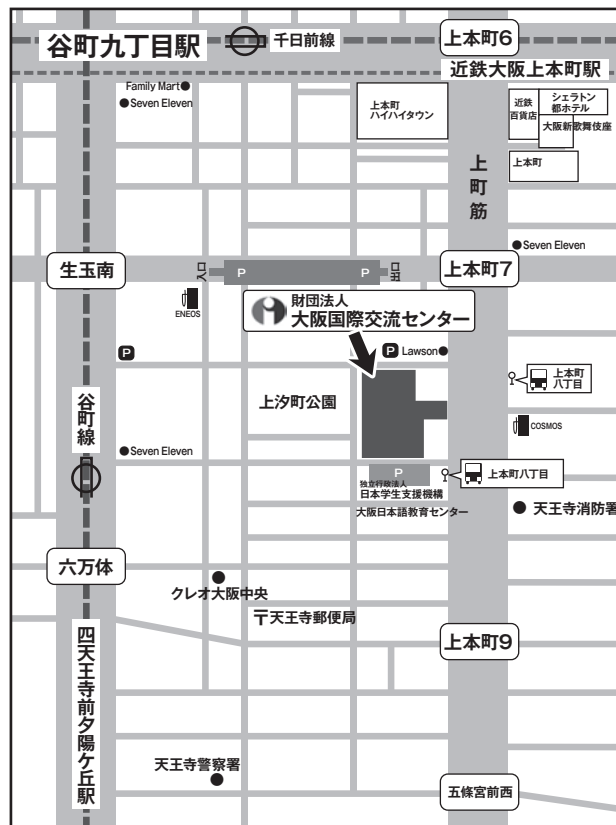
TEL 03-3519-2717 FAX 03-3581-1205 E-MAIL criip@jpaa.or.jp

会場案内

全社協・灘尾ホール地図



大阪国際交流センター地図



日本弁理士会 業務国際課 行 (FAX 03-3581-1205)

日本弁理士会 中央知的財産研究所 公開フォーラム申込書

会 場 右のどちらか□にレを付けて下さい。	<input type="checkbox"/> 東京：9月13日（火）	<input type="checkbox"/> 大阪：10月4日（火）
登 録 番 号	第 号 （※弁理士の方は、必ずご記入下さい。）	
フリガナ ご 氏 名		
入場券 送付先	〒	
T E L		
F A X		
E - m a i l	@	
ご 職 業		

(※ お差し支えなければ、貴社名、肩書きも併記してください。)

※ご記入いただきました個人情報、本公開フォーラムの申込者名簿として管理し、本公開フォーラムに関する連絡のみに使用いたします。